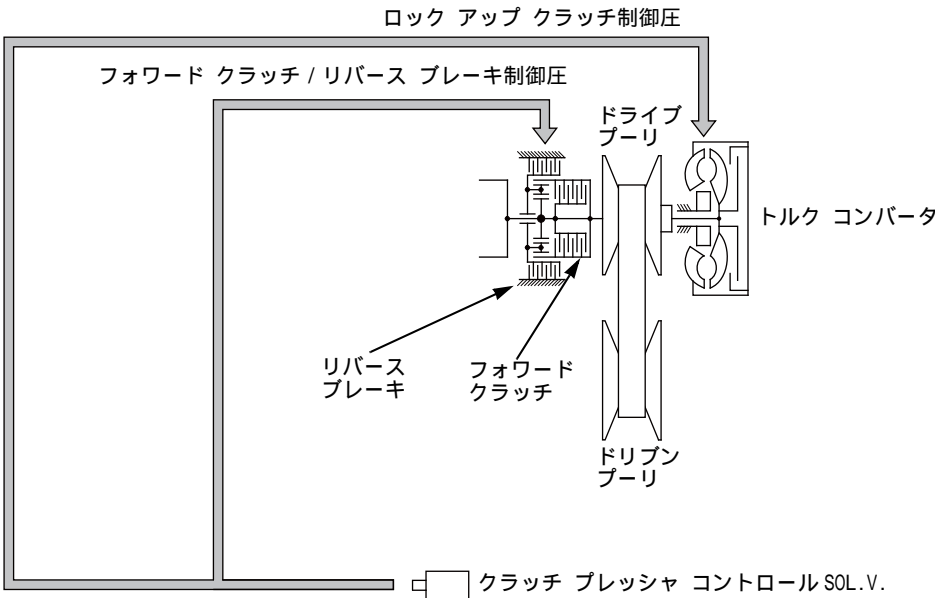


DTC 解説

DTC P0797: クラッチ プレッシュャ コントロール SOL.V. ON 固着
(CVT システム)

検知原理解説



01_P0756P_SYYPB10

クラッチ プレッシュャ コントロール SOL.V. は、油圧回路内の油圧の制御を行う。
クラッチ プレッシュャ コントロール SOL.V. 内のスプールは、PGM-FI ECU により電流値に変換されたデューティ（負荷）出力に応じてバルブを押す。結果、スプールに押されたバルブは、電流値に比例した油圧を開放する。
PGM-FI ECU は、適切なフォワード クラッチ / リバース ブレーキ / ロック アップ クラッチ油圧供給を行うためのクラッチ プレッシュャ コントロール SOL.V. 制御信号を出力する。
ロック アップ クラッチが ON 固着している場合、もしくはインギヤ（駆動力伝達状態）操作開始からインギヤ完了するまでの時間が短い場合、PGM-FI ECU はクラッチ プレッシュャ コントロール SOL.V. の ON 固着と判定し、DTC をストアする。

検知頻度・検知順序・検知所要時間・検知手法種別・ OBD ステータス

検知頻度	常時
(当該 DTC の) 検知順序	なし
検知所要時間	再現テスト手法による
検知手法種別	2D/C(2 連続検知手法)、PGM-FI 警告灯： 消灯、D 表示灯： 点滅
OBD ステータス	正常判定、故障判定、未完了

D/C: Drive Cycle(ドライブ サイクル)

DTC 解説

検知実行条件

条件項目	下限	上限
エンジン回転数 [エンジン回転数]	500rpm	
車速 [車速]**		3km/h
アクセル ペダル ポジション		40 ° *
		0.6 ° **
セレクト レバーの ポジション**	D、L	
当該 DTC の検知禁止要求を行 う DTC	P0122、P0123、P0222、P0223、P0335、P0339、P0501、P0502、P0606、P0705、 P0706、P0716、P0717、P0746、P0751、P0752、P0756、P0757、P0780、P0796、 P0962、P0963、P0966、P0967、P0970、P0971、P0973、P0974、P0976、P0977、 P1658、P1659、P1683、P1684、P16C0、P1898、P1899、P2101、P2118、P2122、 P2123、P2127、P2128、P2135、P2138、P2176	

* : 症状 1

** : 症状 2

[] : HDS パラメータ

故障判定基準

症状 1 もしくは症状 2 が発生した場合。

症状	車両の状態	PGM-FI ECU の検出する情報
1	走行	目標 ETR が 80% 未満で実際の ETR が 101% 超過、130% 未満で 0.45 秒間以上 継続
2	停止	N D もしくは N R ポジションへの インギヤ操作開始からインギヤ完了ま で 0.4 秒間未満

ETR: トルク コンバータ スリップ率

推定故障部位

クラッチ プレッシュャ コントロール SOL.V. の ON 固着

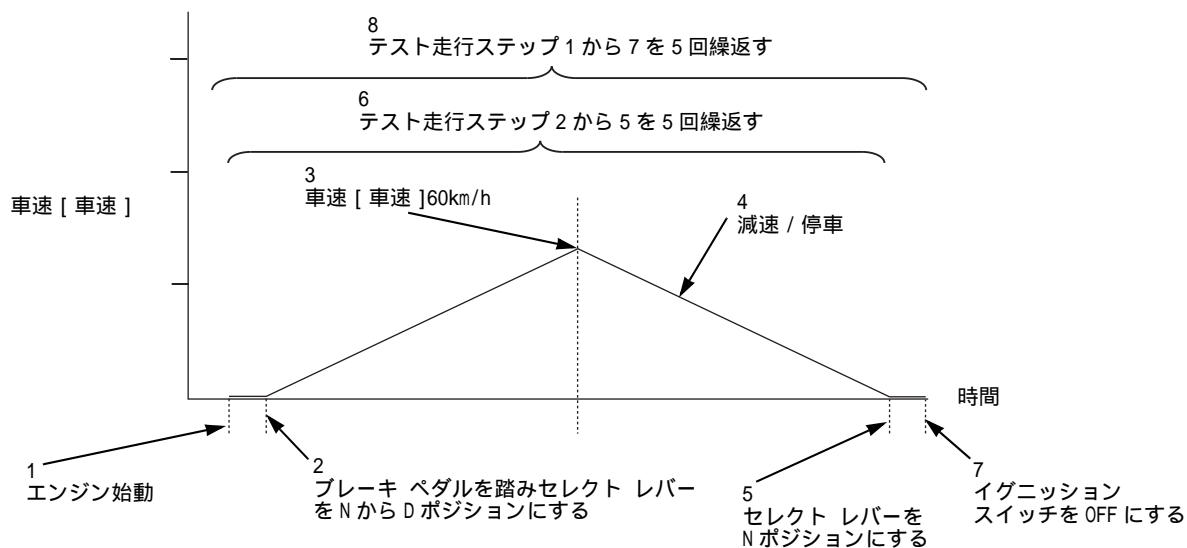
DTC 解説

再現テスト手法

HDS を使用する方法

なし。

実際の代表的テスト走行による方法



1. エンジンを始動する。
 2. ブレーキ ペダルを踏みセレクト レバーを N から D ポジションにする。
 3. 車速 [車速] が 60km/h になるまで走行する。
 4. 減速 / 停車する。
 5. セレクト レバーを N ポジションにする。
 6. テスト走行ステップ 2 から 5 を 5 回繰り返す。
 7. イグニッション スイッチを OFF にする。
 8. テスト走行ステップ 1 から 7 を 5 回繰り返す。
- ・ テスト走行を行う際は、法令遵守の上、マナーを守り周囲の状況に即した運転をすること。

DTC のストアとクリア

DTC のストア

車両が故障と判定した場合、PGM-FI ECU メモリにテンポラリ DTC がストアされる。次回の D/C において同一の故障が検知 (2 連続検知) されると PGM-FI 警告灯が点灯することなく、D 表示灯が点滅し、DTC およびフリーズ データがストアされる。

DTC のクリア

スキャン ツール (HDS を含む) のクリア コマンドの使用、もしくはバッテリー端子の取外しにより D 表示灯、テンポラリ DTC、DTC およびフリーズ データがクリアされる。